北海道医師会館９階理事会室

第１回常任理事会

日　時　令和７年４月８日（火）18：00～19：15
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問
（事務局：三瓶事務局長ほか12名）

協議事項

第１号　北海道保険者協議会医療費適正化計画部会の部会員の推薦に関する件（目黒常任理事）

菅田常任理事を推薦することと決定。

第２号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（村上常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座６件を承認することと決定。

第３号　北海道医師会職員貸付金の利率に関する件（目黒常任理事）

2.0％に改定することと決定。

第４号　個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正に関する件（目黒常任理事）

４月の人事異動に伴い、「個人情報保護管理体制」ならびに「特定個人情報等保護管理体制」を一部改正することと決定。

第５号　第１回理事会［４月19日（土）・Web併用］の議案に関する件（目黒常任理事）

午後４時から当会館においてWeb併用で開催することと提出議案を決定。

第６号　事務連絡協議会［５月23日（金）・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）

午後１時30分から当会館においてWeb併用で開催することと決定。

第７号　第１回郡市医師会長協議会［５月31日（土）・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）

午後４時から当会館においてWeb併用で開催することと決定。

第５号　その他

⑴　４月行事予定に関する件（事務局）

⑵　令和７年度主行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．令和７年度研修医オリエンテーションについて（鈴木副会長ほか）

さらなる医師会組織強化に向けて、三医育大学病院が実施する研修医オリエンテーションに参画し、医師会組織の説明および加入勧奨を行い86名の研修医が参加した。

２．労災三者懇談会［３月５日（水）］について（伊藤常任理事）

令和６年度は当会が当番幹事となり開催した。北海道労働局より、高齢労働者の労働災害ならびに労災補償の現況について説明と報告があった後、当会より、日医労災・自賠責委員会で実施したアンケート調査等を基に、高齢労働者の労災診療における審査上の問題点について報告した。最後に、北海道労災保険指定病院協会より、高齢労働者の私病と労災ならびに外国人労働者の労災について説明があり、協議を行った。令和７年度は北海道労災保険指定病院協会の当番により開催する予定。

３．第２回在宅医療シンポジウム［３月23日（日）］について（菅田常任理事）

「2040年に向けた地域を面で支える在宅医療」をテーマに開催された。厚生労働省医政局地域医療計画課外来・在宅医療対策室・中西浩之室長から「第８次医療計画における在宅医療の体制整備と2040年に向けた提供体制の構築について」と題した講演があったほか、「2040年に向けた地域を面で支える在宅医療」「医療的ケア児を地域で支えるために」をテーマに２つのシンポジウムが行われた。参加者は約300名であった。

４．第158回日本医師会臨時代議員会［３月30日（日）］について（鈴木副会長）

第32回日本医学会総会2027・澤芳樹会頭（大阪府医師会副会長）から挨拶後、松本会長の挨拶が行われた。その後、角田副会長から令和７年度事業計画および予算の報告があり、第１号議案「日本医師会理事選任の件」が上程され、加納康至候補（大阪府医師会長）が理事に選任された。続いて代表質問が行われ、北海道は、野中雅代議員から「学校医不足を解消するために」、大原正範代議員から「持続可能な医療を提供するための税制改革の提言」の２題を提出した。

５．福岡厚生労働大臣への要望書手交［４月３日（木）・厚生労働省］について（荒木常任理事）

３月４日に実施した自民党道連・北海道ブロック両院議員会との勉強会を経て、福岡資麿厚生労働大臣と面談する機会が得られ実現した。中村裕之衆議院議員（自民党北海道両院ブロック会長）のほか道内選出の国会議員４名と当会から佐古副会長、笹本参与、小職の３名が出席した。福岡大臣へ経済財政

運営と改革の基本方針（骨太の方針）に向けた要望書を手交し、人件費上昇と物価高騰により医療機関の経営が悪化している現状等を説明した。「骨太の方針2025」の取りまとめにあたっては、「賃金・物価の上昇に応じて連動する仕組みの導入」「社会保障予算の目安対応について、税収の伸びに基づく財政フレームの見直しを行い、『社会保障関係費の伸びを高齢化の伸びの範囲内に抑制する』との取り扱いを廃止」「小児医療・周産期体制について、体制整備を維持するため強力な方策の検討」について必要な記載を求めた。

６．シンポジウム「医師会の創“医”工夫～医療人材確保に向けて～」［４月４日（金）・Web会議］について（長谷部常任理事）

日医・松本会長から挨拶があった後、川崎市医師会、名古屋市医師会、神戸市医師会および福岡市医師会からそれぞれが開設した医療従事者求人サイトの導入経緯やサービスの概要について講演があった。出席者からは、求人サイトの開発費用やランニングコスト等について質問があった。

７．北海道・東北・東京・関東甲信越ブロック医師会長意見交換会［４月５日（土）・東京都］について（松家会長）

毎年開催している17都道県医師会長による意見交換会を、当会が当番幹事となり実施した。各医師会から提案のあった３つのテーマ「新型コロナウイルス感染症対応を振り返っての対応」「働き方改革における今後の問題点」「セルフメディケィションについてどう考えるか」について意見交換を行った。

８．外部各委員会報告

⑴　第２回北海道がん対策基金運営委員会［３月13日（木）］について（藤原副会長）

令和７年度の事業計画（案）・助成事業の認定状況・収支予算（案）について説明があり、本基金による令和７年度助成事業として申請のあった14団体15事業について協議し、13団体13事業が採択された。

⑵　第１回北海道障がい者施策推進審議会［３月19日（水）］について（藤原副会長）

会長に小職が選出された後、第６期北海道障がい福祉計画の最終評価ならびに第１期ほっかいどう障がい福祉プランの推進管理について協議した。

⑶　第３回北海道公衆衛生協会常任理事会［３月24日（月）］について（藤原副会長）

令和７年度年間スケジュールおよび北海道公衆衛生学雑誌の編集状況について説明後、第77回北海道公衆衛生学会の開催概要、令和６年度の学会員ならびに収支状況、事務局長の交代について報告があった。

⑷　第２回北海道障がい者施策推進審議会医療的ケア児支援部会［３月25日（火）・Web併用］について（三戸常任理事）

部会長に札幌学院大学心理学部・山本彩教授が選出された後、令和６年度在宅の医療的ケア児に関する状況調査結果や医療的ケア児を地域で支援するための協議の場の設置状況調査結果等、６題について報告があり、内容についてそれぞれ確認した。

⑸　道立学校における医療的ケア連絡協議会［３月26日（水）・Web会議］について（藤原副会長）

道立学校に在籍している医療的ケア児に対して、安全に医療的ケアを実施できる体制整備ができるよう今後の方向性を検討する目的に開催された。道内における医療的ケア児の在籍状況や道立学校における医療的ケア実施状況について報告後、令和７年度事業案について協議した。

⑹　第２回北海道がん対策推進委員会［３月26日（水）・Web会議］について（松家会長）

令和６年度における第４期北海道がん対策推進計画の進捗状況、令和７年度の活動予定、今後の進捗状況の管理等にロジックモデルを活用する取り組みについて説明があり、各委員より多数の意見が寄せられた。

⑺　北海道小児在宅医療推進協議会［３月26日（水）・Web併用］について（三戸常任理事）

座長に小職が選出された。はじめに小児科を標ぼうする病院に係る小児科医師数等調査結果等について報告が行われた後、小児等在宅医療連携拠点事業について、令和５年度に整備された全道単位の取組と圏域単位の取組等の実施状況について協議を行った。

⑻　北海道介護現場業務改善総合相談センター運営委員会［３月27日（木）・Web併用］について（藤原副会長）

委員長に小職が選出された後、令和６年度北海道介護現場業務改善総合相談センター事業について実施報告があり、今年度の事業概要について協議した。

⑼　北海道在宅医療推進支援センター第２回運営協議会［３月28日（金）・Web会議］について（伊藤常任理事）

地域における医療・介護連携の仕組みづくりに関する市町村アンケート調査や連携拠点ヒアリング調査、在宅医療に関する診療所アンケート調査等、道内の各医療圏または在宅医療の提供体制に係る地域単位の現状・課題分析のため実施した各調査結果について説明後、地域における在宅医療・介護連携の体制を構築するための各種支援（在宅医療アドバイザーの派遣、在宅医療に係る先進事例集の作成、各種研修会の実施等）について報告があった。

⑽　第９回北海道CDR多機関検証WG及び第２回北海道CDR推進会議［３月28日（金）・Web併用］について（三戸常任理事）

第９回北海道CDR多機関検証WGが行われた後、第２回北海道CDR推進会議が開催され、令和６年度北海道CDRモデル事業報告書（案）について、天使病院小児科科長・佐々木理委員より説明があった。各委員がそれぞれの立場から現状と課題について報告し、協議した結果、一部修正の上、承認された。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．第３回地域保健専門委員会［３月19日（水）・Web開催］について（藤原副会長）

指定更新の申請状況（更新申請16病院）、診療実績および医療従事者の配置状況等の指定要件の充足状況等について説明があった後、指定更新の考え方とその可否について協議した。

２．第２回医療施設整備等検討委員会［３月24日（月）］について（青木常任理事）

令和７年度医療提供体制施設整備交付金事業計画について、本事業は国庫協議の際に個別の事業計画ごとに優先順位を付け、国がそれに基づき予算の範囲内で交付対象事業を選定するもので、申請のあった３事業について順位付けを行った。

第１回理事会

日　時　令和７年４月19日（土）16：00～17：50
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・伊藤・青木・荒木・菅田・白崎各常任理事、今・對馬・鈴木・滝山各理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬・中川両顧問、大原副議長、志田・澤井両委員
（Web参加者）山科・髙橋・寺本・村上各常任理事、小西（宏）・沖・柴田各理事、深澤参与、井門議長、野中委員
（事務局：三瓶事務局長ほか15名）

１．開　　会
２．会長挨拶
３．報告事項

⑴　日医医療情報システム協議会［３月８日（土）～９日（日）］について（藤原副会長）

「災害かつ再生に役立つ医療DX－DX推進の現状・課題・展望」をメインテーマに、日本医師会館大講堂と日本医師会Web研修システムを使用したハイブリッド形式で開催された。１日目は「事務局セッション」「災害かつ再生に役立つ医療DX」、２日目は「医療DXと地域医療情報連携ネットワーク」「医療DX推進の現状・課題・展望」と題して講演やディスカッションが行われた。参加者は915名（会場325名、Web590名）であった。

⑵　第158回日医臨時代議員会［３月30日（日）］について（鈴木副会長）

第32回日本医学会総会2027・澤芳樹会頭（大阪府医師会副会長）から挨拶後、松本会長の挨拶が行われた。その後、角田副会長から令和７年度事業計画および予算の報告があり、第１号議案「日本医師会理事選任の件」が上程され、加納康至候補（大阪府医師会長）が理事に選任された。続いて代表質問が行われ、北海道は、野中雅代議員から「学校医不足を解消するために」、大原正範代議員から「持続可能な医療を提供するための税制改革の提言」の２題を提出した。

⑶　日医シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”」［４月19日（土）］について（村上常任理事）

当会参与である日医・笹本常任理事の司会により開会し、冒頭に日本医師会・松本会長から挨拶があった後、小職を含めて４名のシンポジストから講演があった。小職は都道府県医師会役員として活躍する若手医師の取り組みをテーマに「支えて下さる方々への感謝を学ぶ場としての医師会」と題して発表した。その後、北海道医師会勤務医部会・若手医師専門委員会・橋口仁喜委員長のほか全国の医師会から多くの質問が出され、活発な意見交換が行われた。

⑷　日医理事会報告（松家会長）

３月の理事会では、第１回都道府県医師会長会議開催の件等の協議後、第92回日本医学会定例評議員会、中医協、社会保障審議会障害者部会（第146回）の件等の報告があった。４月の理事会では、日本医師会会費減免対象者拡大の件等の協議後、中医協、社会保障審議会介護給付費分科会（第246回）の件等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

⑸　日医各委員会報告

１）診療所における新興感染症対策研修検討委員会［12月20日（金）・２月５日（水）・Web併用］について（髙橋常任理事）

12月の委員会では、委員長に東邦大学微生物・感染症学講座感染病態・治療学分野・舘田一博教授が指名され、会長諮問「診療所の新興感染症に対する総合力を一層高める取り組みの企画及び実践」について　」の意見交換を行った。続いて、厚生労働省より新興感染症に係る情報提供があり、前期研修会を振り返りつつ、今期の研修会概要について協議した。２月の委員会では、小職より、北海道

での新興感染症に関する取り組み状況を説明した後、研修会内容について協議した。

２）社会保険診療報酬検討委員会［１月22日（水）・３月12日（水）・Web併用］について（伊藤常任理事）

会長諮問「令和６年度診療報酬改定の評価」について協議を行った。６年に一度のトリプル改定、さらには医療DX、働き方改革、コロナ禍を踏まえた医療提供体制や新しい感染症対策等、非常に大きな課題が多く難しい改定であったことについて説明があった。その中でも、診療報酬改定が賃上げや物価高騰等といった社会経済情勢に追いついていない状況について、多くの委員から意見があった。

３）広報委員会［２月13日（木）・Web併用］について（山科常任理事）

事前にメーリングリストを用いて報告した各種事項について確認した後、日医の公式LINEの設計・運営をしているLOYCUS株式会社・上地佑来氏より「SNSを活用した広報活動について」をテーマに講演があった。

４）病院委員会［２月19日（水）・４月11日（金）勤務医委員会と合同・Web併用］について（佐古副会長）

２月の委員会では、松田晋哉委員長からの「公開データを用いた地区診断の事例 北多摩南部医療圏・福山府中医療圏」の発表後、会長諮問についてフリートーキングを行った。４月は勤務医委員会との合同開催となり、病院勤務医の医師会活動へのさらなる参画に向けて、勤務医の医師会費に対する病院からの支援の現状等について、意見交換を行った。

５）AIの臨床利用に関する検討委員会［２月20日（木）］について（野中委員）

委員長に自治医科大学・永井良三学長、副委員長に島根県医師会・森本紀彦会長が指名された。会長諮問「AIに関する臨床的課題と生命倫理について」が示された後、AIの臨床利用に係るヒアリングとして、永井委員長から「生成AIの臨床応用に伴う倫理的課題」、株式会社プレシジョン・佐藤寿彦代表から「AIによって変わる医療現場の働き方」、東京大学循環器内科・小寺聡特任講師から「医療AIの進化と大規模マルチモーダルモデル（LMM）の役割を慎重に考える」と題した講演があり、意見交換を行った。

６）地域医療対策委員会［３月４日（火）・Web併用］について（青木常任理事）

会長諮問に基づき、小職を含む10名の委員から各県における地域医療構想の状況や地域の課題などについて報告し、意見交換を行った。

７）母子保健検討委員会［３月５日（水）・Web併用］について（寺本常任理事）

会長諮問には２つのテーマがあるため、それぞれのテーマに即して設置された「乳幼児健診WG」と「産後ケアWG」での検討内容についてそれぞれ報告があった。その後、こども家庭庁成育局母子保健課から「１か月児」及び「５歳児」健康診査支援事業について説明があった後、会長諮問についてフリートーキングを行った。

８）定款・諸規程検討委員会［３月５日（水）］について（藤原副会長）

委員長に神奈川県医師会・菊岡正和会長、副委員長に千葉県医師会・入江康文会長が指名された後、公益社団法人における外部理事・外部監事の選任について日医の対応を協議した。

９）外国人医療対策委員会［３月６日（木）・Web併用］について（伊藤常任理事）

会長諮問に対し、日本に生活の本拠を置いている外国人（在留、在日）への年齢やライフステージに応じたかかりつけ医機能のあり方、医療通訳サービスの普及啓発・利用促進等、論点案について意見交換を行った。

10）有床診療所委員会［３月６日（木）・Web併用］について（鈴木副会長）

日医総研・江口成美主席研究員より地域における有床診療所の病床機能について、日医・松岡常任理事より令和６年度補正予算病床数適正化支援事業を説明した後、会長諮問についてフリートーキングを行った。

11）医師会共同利用施設検討委員会［３月７日（金）・Web併用］について（小西（宏）理事）

第31回全国医師会共同利用施設総会の開催要領ならびにプログラム（案）について報告後、会長諮問について意見交換を行った。

12）学校保健委員会［３月７日（金）・Web併用］について（荒木常任理事）

文部科学省で実施されている脊柱の検査等に関する理解増進事業について説明があった後、学校健診に関するワーキンググループおよびメンタルヘルスに関するワーキンググループの報告があった。

13）未来医師会ビジョン委員会［３月８日（土）・９日（日）・岐阜県］について（志田・澤井委員）

岐阜県で２日間にわたり合宿形式で開催した。１日目は、東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻医療情報学分野・大江和彦教授から「AIの活用は医療をどう変えるだろうか」をテーマに講演があった。２日目は、会長諮問について議論した。

14）医療政策会議［３月12日（水）・Web併用］について（松家会長）

「診療報酬改定の在り方～現状の問題点～」をテーマに松村誠委員から診療報酬１点単価10円導入の経緯や控除対象外消費税問題について、八田昌樹委員からは診療報酬改定時のイヤーマーク（政策）や診療報酬改定の指標についてそれぞれ説明があり、その後、意見交換を行った。

15）地域包括ケア推進委員会［３月28日（金）］について（菅田常任理事）

中央情勢報告、介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数、賃金の推移の報告後、会長諮問のとりまとめに向けて意見交換を行った。

16）産業保健委員会［４月10日（木）］について（村上常任理事）

会長諮問に関連して、厚生労働省による中央情勢報告の後、医師会主導による産業医契約等モデル事業で明らかになった点や、最近の産業医契約の動向、事業を受託した紹介事業者二社の取り組み等について説明があり、意見交換を行った。

17）生涯教育推進委員会［４月10日（木）］について（髙橋常任理事）

４月に掲載が開始された日医インターネット生涯教育講座について報告後、会長諮問「かかりつけ医機能報告制度を踏まえた日医生涯教育制度のあり方について」に即した研修が可能な疾患テーマ、カリキュラム改訂について検討した。

18）予防接種・感染症危機管理対策委員会［４月16日（水）・Web併用］について（三戸常任理事）

厚生労働省より、最近の感染症対策行政の状況として、４月７日より開始された急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの概要について説明があった後、予防接種行政の状況として、MRワクチンの接種期間延長および帯状疱疹ワクチンの定期接種化について報告があった。

４．承認事項

⑴　外部各委員会等委員の推薦について（目黒常任理事）

北海道保険者協議会医療費適正化計画部会に菅田常任理事を推薦することを承認決定。

⑵　職員就業規則等の一部改正および職員の人事異動について（目黒常任理事）

育児・介護休業法の改正・施行、事務局の人事異動等に伴い、当会各種規則等の一部を改正、本年４月１日より施行することを承認決定。

⑶　個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正について（目黒常任理事）

４月の人事異動に伴い、「個人情報保護管理体制」ならびに「特定個人情報等保護管理体制」を一部改正することを承認決定。

５．協議事項

第１号　第１回郡市医師会長協議会［５月31日（土）・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）

午後４時から当会館においてWeb併用にて開催することと決定。

第２号　北海道医師会職員貸付金の利率に関する件（目黒常任理事）

2.0％に改定することと決定。

第３号　理事提案事項

特になし。

第４号　その他

⑴　令和７年度行事予定に関する件（事務局）

６．道総医協関連事項（藤原副会長）

令和６年度第６回理事会（令和７年２月15日）報告以降に開催された会議について報告した。

７．閉　　会

第２回常任理事会

日　時　令和７年４月22日（火）18：00～18：50
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・橋本・水谷・山科・青木・荒木・長谷部・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問
（Web参加者）菅田・髙橋両常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

協議事項

第１号　社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦に関する件（橋本常任理事）

小児科１名の交代につき、北海道小児科医会から推薦のあった医師を社会保険診療報酬支払基金北海道支部に推薦することと決定。

第２号　母体保護法指定医師の指定に関する件（三戸常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた新規申請者２名、再審査申請者２名を指定医師とすることと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座９件を承認することと決定。

第４号　その他

⑴　５月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．都道府県医師会かかりつけ医機能担当理事連絡協議会［３月26日（水）・Web併用］について（青木常任理事）

本年４月から施行となった「かかりつけ医機能報告制度」をテーマにWeb併用で開催された。日医・城守常任理事、同・今村常任理事ならびに厚生労働省・高宮裕介大臣官房参事官から本制度の概要ならびに報告事項の一つである研修等についてそれぞれ説明があった後、質疑応答が行われた。参加者は136名（会場７名、Web129名）であった。

２．北海道医師会・北海道獣医師会連携シンポジウム［４月12日（土）・Web併用］について

（三戸常任理事）

平成28年３月に北海道獣医師会と締結した学術協力の推進に関する協定に基づき、７回目となる連携シンポジウムをWeb併用で開催した。松家会長、北海道獣医師会・田村豊会長からの挨拶後、「備えよう新たなダニ媒介性人獣共通感染症：SFTSの脅威」をテーマに、札幌市保健福祉局・西條政幸医務・保健衛生担当局長から「SFTSの感染状況と今後の展望」、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター・岡林環樹教授から「SFTSの動物における発生状況と今後の展望」について講演があり、意見交換を行った。参加者は125名であった。

３．日本医師会学校保健講習会［４月13日（日）・日医会館］について（三戸常任理事）

日医・松本会長および日本学校保健会・松本会長（代理：弓倉専務理事）の挨拶後、「学校健康診断に関する諸課題について」をテーマに各講演が行われ、シンポジウムでは、日本医師会常任理事／北海道眼科医会会長・笹本洋一先生および北斗病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科副院長・坂東伸幸先生より、北海道における眼科・耳鼻咽喉科学校健診の現状について講演があった。受講者は168名であった。

４．第１回勤務医部会若手医師専門委員会［４月19日（土）・Web併用］について

（橋口若手医師専門委員会委員長）

日医シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”」にWeb出席した後、引き続き本委員会を開催し、今年度の医学生・若手医師キャリアデザインセミナーと若手開業医と若手医師専門委員会委員との懇談会の開催方法等について協議した。

５．第122回日本内科学会総会・講演会「働き方改革・ダイバーシティシンポジウム」［４月20日（日）・大阪府］について（水谷常任理事）

一般社団法人日本専門医機構・渡辺毅理事長および大阪大学医学部附属病院・中島和江病院長補佐が座長となり、「アフター働き方改革」と「これからの内科医と専門医制度」に関して４名の先生から講演があった後、総合ディスカッションが行われた。

６．各部報告

⑴　特定健康診査集合契約について

（三戸常任理事）

代表保険者である北海道都市職員共済組合ほか928保険者と４月１日付けで契約を締結した。集合契約参加医療機関数は1,384件、そのうち代行入力希望医療機関数は467件である。なお、今年度より健診データ電子化代行業務は㈱ディーソルが請け負うこととなっている。

⑵　北海道有朋高等学校通信制課程協力校受講生定期健康診断の委託契約について

（三戸常任理事）

平成23年から毎年協力している本定期健康診断について、４月16日付けで委託契約を締結した。契約期間は、５月７日から７月31日までで、健診単価は昨年度と同額である。受診対象者は1,440名であり、293医療機関にご協力いただくこととなった。

７．中央情勢報告

厚生労働省の人事（2025. ４．１付）について

（荒木常任理事）

４月１日発令分を含めた幹部人事について、小職より情報提供した。

８．その他

⑴　会員数について（三戸常任理事）

令和７年３月31日現在の当会会員数は8,066名で、内訳はＡ会員2,282名、Ｂ１会員617名、Ｂ２会員4,601名、Ｃ１会員91名、Ｃ２会員101名、Ｃ３会員374名となった。なお、日医会員数は5,650名となっている。